

第71回日本PTA全国研究大会広島大会

期日：令和5年8月25日(金)～26日(土)
 場所：広島県広島市・東広島市・福山市・呉市・府中町

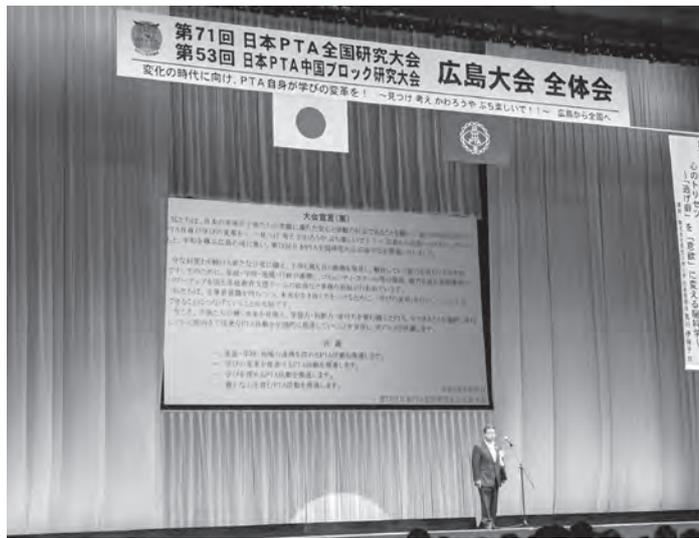
『変化の時代に向け、PTA自身が学びの変革を！』と見つけ 考え かわろつや ぶち楽
 しいで!!く広島から全国へ』を大会スローガンに、今年度の日本PTA全国研究大会が広島
 県内5市町で開催され、本県からも15名の会員が参加しました。

大会の様子を2回に分けて報告します。第1回は、第3分科会に参加した、盛岡・見前南
 中PTAの福田育英さん(県P連副会長)です。

第3分科会では、岩手県で
 も進められているコミュニ
 ティ・スクールの土台となる

『学校教育と地域連携をどう
 進めていくか』について、シ
 ックプライド(地域への誇
 りと愛着)の観

点から進めた事
 例などを紹介し
 ていただきました。



具体的には、
 子ども達がお気
 に入りの場所
 写真撮影を行
 い、それにお気
 に入り理由を付
 したポータル
 マップを作成
 し、続いて、大
 人も同様に写真
 撮影を行いポ
 タブルマップに
 追加するという
 取組みでした。

このようにして作成された
 ポータルマップは、今まで
 に気づくことのなかった『地
 域の魅力発見』や『地域の活
 性化』につながる共に、地
 域を昔から支えている方々に
 も地域の魅力の再発見などが
 伝播するといった事例でした。



また、この取組みからは、
 『小さく生んで大きく育てる』
 ために最初から全部を決める
 のではなく、後から参加をす
 る人たちに『関わりしろ』を
 残しておくことの重要性も確
 認することが出来ました。

さらに、全体会の記念講演
 では、人工知能研究者である
 黒川伊保子さんから脳科学に
 基づく子どもとの関わり方に
 ついてお話があり、講演の中
 で『心理的安全性』
 の内容として、子ど
 もとの会話の中で、
 何でもないことを話
 せ、相手に安心感を
 与えるため『いいね』
 か『わかる』という
 対応で相手の話を受
 ける。また、もしも
 間違った内容である



場合でも、『そうなんだ』や『そ
 んなこともあるんだ』などの
 言葉を返して正しいことを教
 えてあげるといってお話があり
 ました。

このようにして相手の自己
 肯定感を下げないことが『人
 生の敵になるか、師となるか』
 の分かれ道であるということ
 も学ぶことが出来ました。

岩手県では、全国に先駆け
 て昭和40年から教育振興運動
 が進められておりますが、近
 年の人口減少や教職員の負担
 増などの対策として学校運営
 協議会の設置やコミュニティ・
 スクールの導入も進められて
 います。このような近年の動
 向に対する課題の確認や脳科
 学に基づく子どもとの接し
 方、素質の伸ばし方を学ぶた
 めの良い機会となりました。
 ありがとうございます。

(第3分科会の報告
 福田 育英)